

基本方針 IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用
分野区分 1 文化芸術活動の充実

事業名	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合評価	今後の方向性
文化に関する表彰式の開催 （スポーツ・生涯学習課）	市の文化の向上及び発展に関して特に顕著な功績を上げた方々を表彰することにより、当市の文化の振興を図る。	文化協会等関係各機関 122団体へ推薦依頼等により、6名、1団体の推薦があった。委員7名による表彰審査会を開催し、意見を伺い各賞を決定した。 文化功労賞 高谷 勲、関口 巖、米田 日美子 文化奨励賞 十和田フィルハーモニー管弦楽団 計3名1団体	455,952	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●若年層への受賞をうながす手法を検討する必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○文化協会等関係各機関 122団体に推薦を依頼し、音楽、華道、舞踊、演劇、民俗芸能等各分野から推薦を得た。 ●若年層への受賞をうながすため、引き続き教育機関へ推薦依頼をする必要がある。	A	継続
市民文化祭の開催 （スポーツ・生涯学習課）	市民の文化活動を一堂に集め、その公演・展示の場として文化祭を開催することにより、様々な分野や世代を超えた交流を深めると共に、相互の連携を図りながら当市の文化の向上及び活性化を図る。	(1)オープニングセレモニー （11月2日 9：50～ 文化センター 大ホール） (2)舞台部門…30団体（11月2日～3日） 秋のスペシャルコンサート、舞と躍動、吟詠、謡と仕舞 (3)展示部門…17団体 個人…10人（11月2日～3日） 写真展、書道展、切り絵展、文芸展、美術展、手工芸展、陶芸展、蘭展、いけ花展 ほか	1,500,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●参観者の増加を目指すため、舞台部門、展示部門の充実の他に賑わいを生み出す工夫が必要。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○新紙幣記念イベント、キッチンカーの出店等、新たな試みにより参観者増となった。 ●テーブル・パネルの運搬時の運転手を含む人員の確保が懸念される。	A	継続
ジュニアオーケストラ十和田定期演奏会 （スポーツ・生涯学習課）	演奏活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の音楽に対する関心を高め、文化の振興を図る。	ジュニアオーケストラ十和田第20回定期演奏会 （入場無料） 【プログラム】 「調和の靈感」より 4つのヴァイオリンのための協奏曲 「驚愕」 オペラ座の怪人 ほか	183,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●団員の増を目指す取り組みが必要である。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○入場者数が昨年から48名増と向上した。 ○若年演奏家の演奏の育成と市民に芸術鑑賞機会を提供することができた。 ●引き続き団員の増を目指す取り組みが必要である。	A	継続
十和田市子ども劇団公演 （スポーツ・生涯学習課）	子ども劇団の育成を通じて、児童生徒の創造性と豊かな感性を育むとともに、文化の振興を図る。	演 目：スーホの白い馬 入場料：無料 主催者：十和田市子ども劇団育成会 会長 工藤 秀信	727,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●入場者増の取り組みや、劇団の魅力発信に取り組みを支援していく。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○入場者数が昨年から131名増と大幅に向上した。 ○青少年の育成及び質の高い演劇を市民に提供し、好評を得ることができた。 ●引き続き、入場者増の取り組みや、劇団の魅力発信に取り組みを支援していく。	A	継続
十和田市民合唱祭 （スポーツ・生涯学習課）	市民に芸術文化活動の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化に対する関心を高め、文化の振興を図る。	十和田市民合唱祭 (1)入場料：無料 (2)参加団体：三本木小学校合唱部 南小学校合唱部 コールアゼリア 十和田湖コーラス愛好会 北里大学獣医学部合唱同好会 コーラス四季 滝の詩王者合唱団 とわだ混声合唱団	214,214	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●実行委員、出演者が高齢化してきているため、引き続き、小・中学校へ参加を呼び掛ける等若年層の取り込みが必要。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○今年度も小学校2校と大学生を参加させることができた。 ○アンケートで満足度が92.3%と好評であったため次年度以降も継続していきたい。 ●出演者の高齢化により、支えが必要な方や平台・指揮台に上がれない方が増えており、サポートが必要である。	A	継続
十和田市演奏会事業 （スポーツ・生涯学習課）	市民にクラシック音楽等の鑑賞機会を提供し、心豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。	第22回ゼルコパアンサンブルコンサート（入場無料） 【プログラム】 童謡メドレー、シチリアーノ（フォーレ） ピンクパンサーのテーマ オペラ「蝶々夫人」より ほか	275,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●来場者が昨年より減となった。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○来場者は19名増となった。またアンケートで「満足した」との回答が97%であり好評であった。 ●メンバーが高齢化しており、演奏者の入れ替えや他の演奏団体への変更を検討する必要がある。	A	継続

基本方針 IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用
分野区分 2 文化財の保存、継承、活用

事業名	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合評価	今後の方向性
文化財パトロールの実施 （スポーツ・生涯学習課）	市内に所在する史跡、名勝、天然記念物及び埋蔵文化財包蔵地の保存状況や現況を把握するため。	青森県教育庁文化財保護課で実施している文化財パトロール事業と共催する形でやっている。本年は文化財保護指導員丸 慶一氏、大山 誠氏の2名で8日間、市内52ヶ所の遺跡等のパトロールを実施した。	0	<p><令和5年度の課題> ○：成果、●：課題</p> <p>●数年間パトロール未実施の遺跡について実施する必要がある。</p> <p><令和6年度の成果と課題></p> <p>○5年以上未実施だった遺跡のうち9か所のパトロールを実施した。</p> <p>○調査の結果、埋蔵文化財包蔵地について無届の土木工事等は確認されなかった。</p> <p>●委員のスキルアップを支援していく必要がある。</p>	A	継続
伝統芸能まつり開催 （スポーツ・生涯学習課）	県及び市の文化財に指定されている市内の伝統芸能を広く市民に鑑賞してもらうことにより、文化財愛護精神を普及させる。また、民俗芸能の実演機会を設けることにより、伝承活動の活発化と後継者の育成を図る。	<p>各地区の伝統芸能保存団体（計6団体）と、小中学生を中心とした後継団体（計5団体）が芸能を披露した。</p> <p>【プログラム】</p> <p>①南部切田神楽会「権現舞」 ②六日町鶏舞保存会・後継者「一本扇子・さんば」 ③南部駒踊米田保存会・後継者「駒踊」 ④藤島獅子舞保存会・後継者「盆子舞」 ⑤南部駒踊相坂若駒会・後継者「駒踊」 ⑥南部切田神楽会・後継者「庭鎮め」 ⑦南部駒踊立崎保存会「駒踊」 ⑧六日町鶏舞保存会「あや踊り」 ⑨藤島獅子舞保存会「権現舞」 ⑩南部駒踊米田保存会「七ツ棒」 ⑪南部駒踊相坂若駒会「駒踊」</p>	0	<p><令和5年度の課題> ○：成果、●：課題</p> <p>●伝統芸能の継承のため重要な場であることから引き続き事業を継続していく必要がある。</p> <p><令和6年度の成果と課題></p> <p>○多くの市民に鑑賞させることができ、伝統芸能継承のための重要な機会となっている。</p> <p>○アンケートの満足度が91.2%と好評であった。</p> <p>●各地区の後継者確保。</p>	A	継続

基本方針 IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用
分野区分 3 郷土館及び十和田湖民俗資料館の整備・充実

事業名	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合評価	今後の方向性
郷土館企画展及び移動郷土館の実施 （スポーツ・生涯学習課）	博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究をすることともに、郷土の歴史及び文化を深く理解してもらう。	(1)企画展「三本木原開拓澁澤農場文庫特別公開」 （来館者532名） 場所：三本木原開拓澁澤農場文庫 会期：9月21日～9月29日 (2)移動郷土館 小学校11校 児童361名 (3)常設展示 市内の遺跡から出土した考古資料や、江戸時代の古文書、民具、馬具、機織り機、軍馬補充部関連の資料を展示。	5,878,702	<令和5年度の課題> ○：成果、●：課題 ●市民の来館者を増やす方策を考える必要がある。 <令和6年度の成果と課題> ○企画展を三本木原開拓澁澤農場文庫の協力のもと実施し、報道等でも注目され、市内外からの来館者の増加に繋がった。 ●市民の興味を引く企画展などの実施により来館者の増を図る必要がある。	A	継続
十和田湖民俗資料館事業 （スポーツ・生涯学習課）	貴重な民俗資料を保管、公開し、郷土の歴史、文化についての理解を深めるとともに、見学体験事業を展開するなど学習機会の提供に努める。	(1)郷土資料の展示、保存・活用 国指定重要文化財・旧笠石家住宅の公開・保全と、地域住民から寄贈された民俗資料（農林水産業の道具、衣類、食器、家具等）の展示・保存・活用 (2)子ども見学体験事業 主に小学校児童を対象とした、旧笠石家住宅や館蔵資料を活用した昔の暮らし体験事業を実施。 小学校3校（232名）	5,208,332	<令和5年度の課題> ○：成果、●：課題 ●屋根の改修等については、文化庁調査官の現地視察を受け、対応を検討中である。 <令和6年度の成果と課題> ○十和田市の昔の暮らしについて市民、観光客に広く周知できた。 ●屋根の改修等については、補助金の申請に向けて準備を進めている。	A	継続
市史編さん事業 （スポーツ・生涯学習課）	本市の歴史や文化を市民の共有財産として後世に伝え、郷土への愛着を深めるため、市史を刊行する。	(1)編さん委員会 会議1回開催 (2)編さん専門委員会 会議3回開催 その他下記部会で会議、調査を実施 ・自然・先史・古代・中世部会 会議1回開催ほか市内土器、城館、仏像の調査実施 ・近世部会 会議2回開催ほか郷土館所蔵の古文書等の調査実施 ・近現代部会 会議1回開催ほか市民図書館及び郷土館所蔵の資料の調査実施 ・十和田湖部会 会議1回開催ほか十和田湖占場の調査、水生生物調査実施	1,172,000	<令和6年度の成果と課題> ○：成果、●：課題 ○市史編さんに必要な調査を実施した。 ●市史編さんの刊行にかかる具体的な手法について整理が必要。	A	継続